

日本一の空港を災害から守る

CPG工法（静的締固め工法）による耐震化

✪ 空港ならではの難しさ

東京国際空港は、24時間供用し、2、3分間隔で航空機が離発着する日本一かつ世界有数の多忙空港です。

工事対象地盤は滑走路や誘導路直下のため、夜間閉鎖時間の限られた時間に車載式の施工機械にて液状化対策(耐震化)を行っています。また、現場作業員は150人を超え、100台以上の工事車両を一斉に稼働させ施工しています。

密に連携を取りながら空港運用に支障をきたさぬよう、日々些細なことにもいち早く気付けるよう目を配っています。



✪ きっかけ

祖父が建設業だったこともありですが、東日本大震災後の宮城県女川町の津波被害状況を目の当たりにし、海に囲まれた日本の港湾強化・復興事業に携わりたいと思ったのが、きっかけです。

何事も自分から働きかけることをモットーに、対話の多い現場づくりを心掛けています。

五洋・みらい特定建設工事共同企業体
(所属 五洋建設㈱)
工事担当技術者 雄倉 佐彩



東京空港整備事務所と東京国際空港の耐震化に取り組んでいます

令和5年度 東京国際空港P誘導路他地盤改良工事

五洋・みらいJVは働き方改革・担い手確保について積極的に取り組んでいます。

五洋・みらい特定建設工事共同企業体